

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

おはようございます。12月議会、一般質問、登壇の許可を得ましたので、上野淑子、一般質問をいたします。

けさは本当にひどい霜で身の引き締まる思いでございました。それから、1番ということで、本当に引き締まっております。

先ほど来、教育長より報告がありましたように、学校現場におきましても大変な様子、それにも増して、インフルエンザでまだまだ終息を見ない現況の中、学校現場はいろんな問題とともに、本当に児童・生徒はもちろんのこと、学級閉鎖などで現場に携わる先生方の御苦労は並大抵ではないかと案じております。まだまだ本当にインフルエンザの終息は見ない中ですけれども、どうか元気で、みんな無事で、市から配られましたマスクも大いに活用しながら、元気に日々を過ごしていきたいと願っております。

では、一般質問に移らせていただきます。

まず初めに、防犯灯のさらなる検討についてでございます。

これは、さきの6月の議会で先輩の黒岩議員から詳しく質問がなされ、地元の要望についても説明があったことです。北方インター馬神線の高速道路の側道のところについてでございます。そのときには行政の答えとしましては、そこは行政区が3地区にまたがっております、そして、維持管理につきましては、3地区で協議をしながら、防犯協会とも話し合いをしながら進めていかななくてはならないという返答をいただいておりますが、その後、いまだになかなか取りつけられると、進んでいるということはないので、どのような進捗状態になっているものなのか、その話し合いの結果をお聞きしたいと思っております。

○議長（杉原豊喜君）

大庭政策部長

○大庭政策部長〔登壇〕

おはようございます。お答えいたします。

まず、防犯灯の基本的な設置についての考え方でございますけれども、これは何回もお答えしているかと思っておりますけれども、防犯灯の設置につきましては、武雄市防犯協会が市の補助金を受けまして、防犯灯設置に要する工事費の実費額を支給しております。ただ、電気代等の維持管理費については、関係する行政区で対応をお願いしているところでございます。

その流れでございまして、これは各行政区からまず各町の防犯協会に要望を上げていただいております、そこで取りまとめをして、それを市の防犯協会に取りまとめながら予算の枠内で工事をしているというふうな状況でございます。

御質問のこれは多分、市道インター西線のことかと思っておりますけれども、これにつきましては、3区にまたがっているということで、ぜひ行政区でまず協議をしていただきたいという

こともお答えしておりましたけれども、9月議会で29番黒岩議員の御質問に答弁したように、ここが非常に狭隘な場所であるというふうなことから、まちづくり部のほうで、今後、市道拡幅ということで、その折に街路灯の設置等も含めて検討したいということで答弁したかと思えますけれども、これについては平成23年度から設計等に入る予定というふうに聞いているところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

拡幅については、私もちょっとすみません。そこはお聞きしておりましたけれども、あれから、6月から半年たっておりますけれども、いまだついておりませんし、近ごろは日没も早くなって、朝夕子どもたちの通学するところを私も通ってみましたけれども、真っ暗です。本当に親さんたちの、保護者の方からの声が上がっておりまして、とにかく早急にしてくれと、防犯協会とか区長会とかまちづくりとか、いろんなところで話し合われて審議をされていることは重々承知をしておりますけれども、こんなふうに緊急な場合は何とか市としてできないものだろうかということを本当に痛切に訴えてこられました。

23年ということですがけれども、それはそれでまた確実にされることとは思いますけれども、それまでですね、我が市では事件は起こってはおりませんけれども、大変な事件が起こっていることは皆さんも御承知のことと思います。起こってからではどうしようもない。我々保護者として、それから一般市民として本当に不安にも感じているところです。規則とかいろいろルールがあるとは思いますが、緊急な場合を要するということにはできないものかどうか、返答をお願いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

さきの議会で黒岩議員から御質問があった後に私もその地区は見て回りました。非常に暗くて危ないと。そして、現に私の目の前でもそういう危険性があるかなというような行為といますか、いろんな方々が歩いておられて、これはちょっと犯罪を誘発しかねないという思いを強くしたところであります。

したがって、私からのお願いは、まずその3地区合同でぜひ要望を統一的に出していただければありがたいということでありまして。出ているかもしれませんが、私のところにはまだいただいておりませんので、そういう要望、どの部分がどういうふうに暗いかというのは、私ども行政よりも、その地区の皆様方が熟知されているというふうに思っておりますので、そういう要望書をぜひ提出をいただきたいというのが1点。

それともう1つ、ぜひお願いをしたいのは、見回りに当たっては、私どもの行政もぜひ入

れてほしいということも思っております。担当の総務課と皆様方、地元で合同点検を実施をしたいというふうに思っておりますので、そういった意味で、最初の段階から行政も入っていききたいということも思っておりますので、ぜひ正式な要望を出していただければ、これは23年を待たずして私は対処ができるというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

今のような市長の温かい返答を先に聞いておりましたら、こういうことはなかったかなと思いますけれども、なかなか行政区が3地区にまたがって北方だけではないということで、区長さんたちの話し合いも、それぞれができないんじゃないかなと思います。そこは行政がやっぱり主導して、集めていただいてでも話をしていただければと思っております。それが今まであったのかどうか、私も危惧しておりましたので。

だから、市長がおっしゃるように、本当に私も確かめました、防犯協会からとか区長会からとか、そこからあれが上がっていますかとお聞きしたんですけど、それは上がっていないということだったんです。だから、それはどうしても3地区の方が会うあれがなかったかなと思います。だから、そこら辺を行政が主導して集まっていたいただければと思っております。

今、市長がおっしゃったように、命の重みを大事に考えられて、もう早急に、23年を待たずに、そういう段階を踏まえたら取り組むことはできるという返答でした。本当にありがとうございます。

それで1つ、これはお願いですけれども、どうぞ3地区の区長さん、防犯協会さんたちには。すみません、行政から呼びかけていただいて、話し合いをする場を持っていただきたいと思っております。

それともう一つ、2つ目ですけれども、これも市長のほうから先に提案されたので、よかったんですけれども、私も提案しようと思っておりました。昼間はですね、明るいときには地域のおじさん、おばさん、それからたくさんの方々に青色回転パトロールもしていただいております。でも、こんなに危ない、危険な箇所というのは暗くならないとわからない。ですから、私がきょうは提案したいなと思っておりましたのは、行政の方でも暗くなってから今おっしゃったようなパトロールをしていただいて、もう何回ともなくしていただいたら、こういう場所がほかにも多々あるんじゃないかと私は思っておりますので、それを提案して見つけていただきたかったんです。市長がそれはするとおっしゃいましたので、よかったんですけれども、その3地区の協議というものを行政主導でしていただけないかということはいかがなものでしょう。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

原則的には、それは地区の皆様方が地元の様子を見て、そして防犯協会、行政という流れでありますけれども、やはり3地区、町がまたがるといった場合には、それはなかなか議員が御指摘のとおり難しい面がありますので、これは私どもから呼びかけをしたいと思っております。

ここでお約束できるのは、そういう協議の場を設置する。それともう1つが、その協議をしていただく方で、先ほど申し上げたとおり、行政、これは担当は政策部の総務課になりますけれども、御一緒させていただいて、実際現場をきちんと夜見るということ。それで正式な要望書を出していくという段取りを進めさせていただきたいと、このように思っております。23年を待たずして、これは必ず実施をしたいというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

ありがたく思います。一日も早く率先、リードをとっていただいて、子どもたちの不安、親の不安を取り除いていただきたいと思います。本当にありがたく思います。

それから、見回りのほうもよろしく願いいたします。

次に、交通安全の啓発について質問をいたします。

冬の交通安全、守ろう交通ルール、高めよう交通マナーをスローガンに、こういうチラシがどこの家庭にでも入っているんじゃないかと思えます。

今私たち、もう婦人会と言ったら怒られますけれども、交通マナーを守って、交通ルールを守って交通事故を防ごうということで、みんなで取り組んでおります。今ですね、ここに書いてありますように、冬の交通安全県民運動の重点目標として、1. 高齢者の交通安全、事故防止、2. 飲酒運転の根絶、3. 追突事故の防止と大きく3つを上げておられます。このごろの実態ですけれども、高齢者の交通事故防止というので、死者数の3分の2が高齢者ということです。飲酒運転の根絶、これもいまだになかなか根絶できずに発生をしている、大変危険だということ。それから、追突事故の防止、これもまた、追突事故の大半が高齢者だということで、本当に高齢者に対する交通事故防止については叫ばれておる中でございます。

本当に市としても、市報でも何にでも交通事故防止のプリントとかたくさんチラシとか入ってきますけれども、なかなかこういうふうに県においても、我が市においてでもでしょうけれども、交通事故が減りません。一体どうしたら啓蒙できるのだろうか、市としては、どのような啓蒙活動をされているものなのか、やっぱり交通事故防止は家庭からと言われておりますが、どのような方法で取り組んでおられるのか、お尋ねしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

大庭政策部長

○大庭政策部長〔登壇〕

お答えいたします。

交通安全についての啓発でございますけれども、まず、子どもへの啓発、それから高齢者への啓発、それと、一般市民全体を対象にした啓発というふうな形で行っているところでございます。

子どもへの啓発につきましては、主に交通安全教室の開催とか、これは入学式の折でございますけれども、交通安全啓発物品の配付、それから登校時の安全確保、これは交通安全指導員さん76名を委嘱しておりますけれども、立哨等をしていただきながら、安全確保に努めていただいております。

それから、これは各区の交通安全協会との協力で行っているところでございますけれども、交通安全啓発看板等の設置を行っております。それから、高齢者に対する啓発といたしましては老人クラブの例会等での交通安全教室の開催、それから、出前講座という形で職員等が出かけて行って啓発を行っている。それから、警察からの情報発信ということで、老人クラブ連合会等への啓発チラシの配布を行っております。それと、交通安全運動期間中の自動車学校で一日開放を活用した参加体験型の交通安全教室の実施ということも行っております。それと、市民全般的な対応といたしましての啓発でございますけれども、これは市の広報紙等による啓発、特に交通安全県民運動期間中を中心に行っております。それから、春夏秋冬の交通安全運動期間中の啓発事業の実施、これは街頭キャンペーン等を行っているところでございます。それから道路危険箇所点検の実施、それから交通安全施設、カーブミラーとか、信号機、横断歩道等の充実、それから警察、道路管理者との連携を図りながら、こういった施設の充実に努めているというところでございます。

市内で死亡事故等が発生しましたときには、警察、道路管理者、市、そして関係団体、これは地元の関係する区長さんとか、老人クラブの会長さん等に出いただきまして現場検証の実施というふうなことを行いながら啓発に努めているところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

本当にたくさんのことを実施されていて、これをみんな守れば本当に事故がなくなるはずですが、それでもなおかつ事故がなくなるということとは一体どうすればいいのかなと私たちも危惧をしております。

今、部長おっしゃったように、いろんなことをしてありますけれども、1つお尋ねしたいんですけれども、市内でも高齢者の事故があったときに、実際に現場検証とか、それはもう

警察のすることですけれども、市として実際どのようにされているものなのか、本当に目で見たり耳で聞いたりする啓蒙活動だけではどうしても減らないということ。じゃあ、本当に事故が起きた場合に、例えば、その地区の方たちに対してどのような指導をされているのか、どういうふうなことをされているのか、ちょっとお聞きしたいと思っておりますが。全体的な指導というのは今わかりました。たくさんのことをしていらっしゃるということはわかりましたけれども、具体的にですね。

○議長（杉原豊喜君）

大庭政策部長

○大庭政策部長〔登壇〕

お答えいたします。

先ほどの答弁と多分ダブるかもわかりませんが、特に老人クラブに関しては、例会に出かけていったり、それから、出前講座で、老人クラブさんから来てくれというふうなことで出かけていっているんなお話をさせていただくとか、短い映画を見せて啓発をするとか、それと先ほど言いました死亡事故等があった区関係とか、そこの町関係には近い折の会合等に出かけて行って、そういった身近な事故としてお話をさせていただきながら啓発に努めているというふうなところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

身近な事故について、その後の啓発運動というのが本当に大事じゃないかと思っております。だから、それをどうぞ続けていただきたいと思っております。

それから、本当は1人でも交通事故者がないように、我が武雄市も頑張って気をつけていかなければならないなと思っております。

では、次に移ります。

次は、住民検診の環境についてお尋ねをしたいと思います。

11月3日、武雄市文化会館において、「がん予防日本一のまちを目指そう！」のキャッチフレーズのもとにがん撲滅推進大会が開催されました。その折に基調講演をされた中川先生のお話は、私も含めて参加者の多くが感銘を受けました。このことにより、がん予防に対する市民の意識はかなり変わってきたんじゃないかなと私も推測いたしております。その後、ちょっと尋ねたところですけれども、がん検診の希望がふえましたよということもお聞きして、ああ、よかったなと思っております。

早期発見によるがん撲滅は期待できるということで、認識を新たにされた市民もたくさんいらしたんじゃないかなと思います。

この大会を実施していただいた行政の方に深くお礼を申し上げますとともに、これから先、

もっと受診率のアップを期待する中、住民検診の環境についてお尋ねをしたいと思っております。

私たち北方、山内には健康センターというものがあまして住民検診については、さほど気にかけておりませんでしたし、いろいろな意見も寄せられることもありませんでした。ところが、旧武雄市から場所的について、いろいろな不満の声が届いております。それは武雄市文化会館での検診設営についてであります。いろいろなことをお聞きしておりますが、行政としてはどのような方法で検診をされているのか、武雄市文化会館の中身においてお尋ねをしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

國井くらし部長

○國井くらし部長〔登壇〕

おはようございます。今、上野議員から申されましたように、山内、北方では保健センターがありまして、その施設に合ったような使い方をしております。ただ、武雄市にはその保健センターがないということで、御存じの検診につきましては、武雄は特定検診とがん検診、がんが6種類ほど検診がありますので、大型の検診車が来ますので、それから、市民の方の駐車場の確保ということで、広いスペースということで文化会館を使っているところです。大体、検診としましては、文化会館の入り口のフロアを大体検診会場として、問診とか触診、そういうのについては仕切りをしているわけですね、これが非常に市民の皆様のプライバシーを守っていないということでございますので、来年度からは文化会館を使う場合は管理棟とか、そこらあたりの会議室、研修室を使って検診を行っていきたいと思っております。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

行政のほうとしても、問題点はもう把握していらっしゃるようですので、私もあれですけども、本当に市民の旧市内の方からの不満の声というのは、「市民文化会館のロビーのところで、つい立てを張った中で乳がんの触診の検診がある。本当に不安で落ちつかない、行きたくない」という声を何度か聞いたんです。私は本当に北方でしたので、そういうことは気にもせずになんとも思っていなかったんですけども、「ぞうたんのごと、そがんで検診のありよったね」ということで、いろいろお聞きしましたら、「本当にそがん検診に行きとうあんもんね」ということで、いろいろ意見が届いておりました。今おっしゃったように、場所とか、それから検診車というのが何台も来ますので、大変だと思いますけれども、でも、それでは検診に行きたくないと言われる方の言葉は反映できないと思う。

すみません、受診率というのがちょっとどういうものなのか、推移がわかりましたら。

○議長（杉原豊喜君）

國井くらし部長

○國井くらし部長〔登壇〕

この検診につきましては、大体去年が29%程度、今度が30.幾ら、少し上回っております。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

皆様、あらっと思われたと思いますけど、本当に低い受診率ですね。それが本当に場所的なものに関係しているかどうかはわかりませんが、私は、それは我々女性にとっては本当に大きな原因もあるんじゃないかなと思っております。

それで、改善されるということで楽しみにしておりますけれども、これは市長にですけれども、受診率を上げるということは転ばぬ先のつえとして、本当に大事なことだと思います。これまた、財政厳しい中、こういう質問に対してはお答えにくいとは思いますが、なぜ旧武雄市内に保健センターがないものなのか。北方、山内にはあって、我々住民の健康を守ってきていただきました。いろんな相談もそこにしておりました。でも、旧武雄市内には健康センターがない——なぜなのか。そしてまた、これは本当に命を守るために、武雄市民の健康を守るために大事な拠点となる場所ではないかと思っております。行く行く建設の予定とか、そういう考えはあられるのかどうか、お尋ねしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

答弁にお答えします前に、先ほどの場所の問題について、ちょっと補足をさせていただきます。

確かに、議員の御指摘のお話は特に女性の方から私も多く伺いました。そこで、ちょっと考えておりますのは、実際、やっぱり男やったらわからんわけですね、率直に言って。ですので、検査の前に何人か一般の女性の方にちょっと見てもらおうと、こいでどがんやろかということをした上で次の検査については当たろうと。やっぱり多聞第一、進めていきたいというふうに思っております。

では、お答えします。

先ほどの保健センターについては、平成14年2月7日に、武雄市保健福祉センター建設促進協議会より、私の前の執行部が要望書をいただいております。その中で、なぜできないのかということでもありますけれども、当時の執行部のお答えは、要望に対しては市として趣旨は理解をしていると。景気低迷の中で財源となる市税の減収、交付税、交付金制度の不透明さ、競輪事業の低迷と市の財政状況が非常に厳しい状況であり、早急にこたえることができないということ。今後、調査研究をしていきたいということをお答えされております。

今、認識は、前の執行部と私どもの執行部、現状認識は一緒です。そこで今考えておりますのは、今度新しく新武雄病院、まだ仮称でありますけれども、これが場所も広がって設置をされます。そこにこういった医療面からのこういう機能ができないかどうか、これは私から今度運営をする池友会グループにちょっと指示をしたいということを思っております。あるものを活用するという観点から、これができないかどうか。ですので、新たに箱物をつくるということについては、民主党政権においてはどんどんやっぱり削ると大方針が示されておりますので、これはなかなかできない。しかしながら、先ほど言ったように、やっぱり民の力を活用してそこに、今の政権は「コンクリートよりも人」というふうにおっしゃっておりますので、そういう温かいお気持ちをそこにつなげていくというのが私の役割だというふうに認識をしておりますので、そういった観点から願いは違う形になるかもしれませんが、私も動きたいなというふうに認識をしております。できない理由よりできる理由を言っていきたいと、このように思っております。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

本当にできない理由よりできる理由をということで心強く思っております。やっぱり私たちの命を守る、健康を守るためには、ぜひ必要なところだと思います。ましてや、検診に行きたくないというのはもってのほかだと思いますので、今度の検診を皆さん期待していらっしゃると思います。

それから、先ほど市長がおっしゃいましたように、私も保健福祉センターの要望のことをお聞きしました。以前より要望が出ていたということですので、ですから、本当に保健も福祉も重なるところは十分たくさんあります。ましてや、その拠点が無いということは、本当に活動をされる方たちにとっては大変なことじゃないかなと思っておりますので、一日も早くそういう拠点ができることを願って、この質問を終わりたいと思います。

次に、北方幼稚園について質問をいたします。

これもまた、6月議会の続きであります。再度の質問であります。6月定例議会のときに北方幼稚園に障がい児を受け入れてほしいという質問をいたしました。ちょっと名前を言いくいですので、仮称Aちゃんということにして聞いてください。

私がお願いしたいという障がい児のAちゃんは、脳性麻痺のために上肢、下肢のほうที่ไม่自由です。それで、どうしても歩行が困難であり介助は必要なのです。幼稚園に引き受けた場合には、介助人がどうしても必要になってくる。どうだろうかということをお尋ねです。どうしても本人は北方幼稚園に行きたいという希望を持っているから受け入れはどんなですか、公立幼稚園だからこそできるんじゃないですかという一般質問をしております。

せんだって、幼稚園の園長先生のほうにお尋ねをしましたところ、「Aちゃんは行事のと

きに何度か園に見えて、みんな園児と一緒に楽しく過ごしているよ」ということをお聞きしました。「園長先生の考えはどんなですかね」とお聞きしたところ、今、私たちは共生生活をしていかなければならない社会の中で、やはり、Aちゃんを受け入れて、そして、健常児の皆さんと一緒に社会に伸びていく子どもたちのために、私は教育をしていきたいですよというありがたいお言葉をお聞きしました。教育委員会としては、その後どのように話が進んでいるのか、お尋ねをしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

浦郷教育部長

○浦郷教育部長〔登壇〕

おはようございます。今、上野議員から質問がありました障がいのあるお方の北方幼稚園の入園についてでございますけれども、これは、ちょうど入園に関しての申請書が今出されたところでありまして。これについていろいろ資料等をお願いし、今言われたいろんな体の状況、状態、こういうところも一緒に申請書に添付をしていただいで、今から協議をさせていただこうというふうに思っています。

ただ、今までの北方幼稚園についても、障がい園児を受け入れたという実績がございませんので、そこら辺のことを十分に施設面等調査、それから協議含めて対応をしてまいりたいと。ただ、先ほど申し上げましたように、障がいの程度によって介助員なり、あるいは幼稚園教諭、その配置をどういうふうにしたらいいのかというのがはっきりまだわかりませんので、要するに人的配置ですね、そこら辺のことを含めて十分協議をさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

十分な検討中だということで期待をしておりますが、市長にお尋ねですけれども、公立幼稚園が民営化とかいろんな問題、入園児が少ないという大きな問題も抱えておりますが、どうしても、今、障がいを持っている方たちの受け入れをぜひともですね、うちの公立幼稚園だからこそできるという幼稚園にさせていただきたいと私は思っております。

また、今言いましたAちゃんのところも今、お母さんが毎日ついてきていらっしゃるけれども、ステップ段階としてやっぱり親の手を離れながら、いろんな教育をしていく段階になっていると思います。どうしてもここではっきりとですね、人的な配置とかいろんな協議はあると思いますけれども、根底的なものとして市長の考えをお聞きしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

やはり市政の根幹は、弱い立場にあられる方、身体的にハンディキャップを持たれておられる方に光を当てる、それが私は樋渡市政の根幹だと思っておりますし、それを自戒しながら市政を進めたつもりであります。

先ほどの御質問を聞いて、ここはぜひ行政として光を当てる必要があるだろうと認識をしておりますし、これは議会の多くの方々も同じだというふうに思っております。

そのような中で、私といたしましては財源、これはやっぱり財源が要ります。緊急雇用創出基金事業から、これはちょっといろいろな条件がありますので、文部科学省等と調整をいたしますけれども、それがかなうならばそれをもって財源に充てたいと思っております。しかし、ここで困るのは事業仕分けです。基金は押しなべてだめだということを一刀両断的に民主党政権はおっしゃっておられますので、ここはぜひ、同じ連立与党を組まれております社民党さんに、いや、ここは基金でもいろいろあるよということをぜひ国会の場にお届けをいただきたいと思っておりますし、私ども行政ももう今会えないわけですね、遮断されて。今度、東京に私が上京するに当たっては、この件でも文部科学省に行こうと思うとっわけですね、知っつつ人おっけんが。来んでくれと言われるっわけですよ。来たら何かやっぱり困るということを言われます。そいぎどけ行くぎよかですかと言うぎ、ある連立与党の党の幹事長室に行ってくんさいて、こう言われるわけですね。これは非常にルールとしては理解できない。理解できる部分もありますけれども、上野議員のお声、私たちの気持ちをやはり直接届けたいというふうに、こう思うわけです。ですので、そういった意味から、いろいろちょっと困った制約等がありますけれども、基本的に財源確保できれば、優先順位第1として、この人件費に充てたいと思っております。

それとあと、先ほど教育部長からありましたように、どういう配置にするとか、いろんなバリアフリーの問題とかありますので、私はそれはぜひ事前によく調整をしていただければありがたいというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

8番上野議員

○8番（上野淑子君）〔登壇〕

弱者に光をという温かい市長のお言葉に本当にうれしく思います。本当に今の市長の答弁は武雄市の皆さんに聞いていただきたいと思っております。

障がい児を産もうと思って産まれる方はどなたもいらっしゃいません。いつ何どき同じ境遇になるかもわからない私たちです。今の市長の答弁を聞いて、本当に保護者の方は安心されたと思います。どこでもでも温かい教育を受けることができる、支え合って、助け合っていくことができる武雄市であるということを市民の皆さんも本当に喜んでお聞きになったことと思います。

政策、いろんなことがあると思いますけど、そこら辺はどうぞ行政、それから市長の手腕

でクリアしていただいて、とにかくAちゃんが楽しんで、喜んで未来を見ながら明るい気持ちで入園できることを私は本当に楽しみにしております。よろしくお願ひしたいと思ひます。
では、私の質問は終わります。